デジタル　耳かけ型補聴器　**ナイーダ/ナイーダSP**

ウルトラパワー　スーパーパワー

# Naída IX UP/SP
# Naída V UP/SP
# Naída V UP/SP ジュニア
# Naída III UP/SP
# Naída III UP/SP ジュニア
# Naída I UP/SP

# 取扱説明書

CE 0459

## ■はじめに

この度はフォナック社の補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

本書では、ナイーダ ウルトラパワーをナイーダ UP、ナイーダ スーパーパワーを
ナイーダ SP と略します。

## ■安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| 警告 | この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

| | |
|---|---|
|  禁止 | この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。 |

## ■ご使用にあたって

 禁止

・音量を大きくしすぎないで下さい。
・騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
・強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
・補聴器は医療機器ですので、分解や改造はしないでください。
・レントゲン撮影、CT スキャン等の画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には補聴器を外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。
　また MRI スキャンは強い磁力を用いますので、MRI 室に入る前には必ずお外し下さい。
・過度の湿気や高温な場所は避けて下さい。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。

・補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水泳やお風呂に入るとき
　などは、お取り外しください。
・ナイーダは完全防水ではないので、水に浸すようなことはお避けください。
・電池は火中に投げ入れないでください。

⚠ 警告

ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないで下さい。万が一、誤って電池を
飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。

## 注意

・指向性マイクロホンを搭載した機種は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
・補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
・ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30 秒ほど待ってからご使用ください。
・使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
・ご不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
・汗、湿気、皮脂、耳垢、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。

## ■ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元にもどすものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調整してお使いください。
- 補聴器はお客さま専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

## 注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医にご相談ください。

- 耳の治療中の方、耳の中や耳の後に痛みまたは炎症がある場合
- 過去 90 日以内に耳だれがあった場合
- 過去 90 日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
- 過去 90 日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
- 急性または慢性のめまいがある方

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止し、耳鼻咽喉科医または販売店へご相談ください。

- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ・湿疹等が出た場合
- 耳だれが出てきた場合
- 耳の治療が必要になった場合
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合

## ■目次

## ■各部の名称

（イヤモールドの場合）

①マイクロホン音口（マイクロホンカバー付）
（音の入口）
②プログラムスイッチ
③ボリュームコントロール
④電池ホルダー（電源の入 / 切機能付）
⑤イヤフック（音の出口）
⑥イヤモールド（別売）

電池サイズ
ナイーダ UP：PR44（675）
ナイーダ SP：PR48（13）

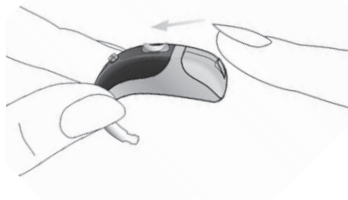
## ■電池の交換方法

1. 新しい電池の保護シール
をはがします。
シールが貼ってある
側が（+）面です。

2. 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を
取り出します。

3. 新しい電池を入れます。電池の（+）面
と電池ホルダーの+マークが同じ方向に
なるようにあわせます。

※ナイーダ・ジュニアの場合は、
4 ページをご覧ください。

4. カチッと閉まるまで、電池ホルダーを
ゆっくり押します。

## ⚠注意事項

・電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。

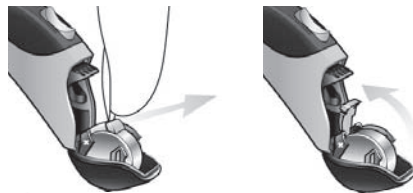
・電池ホルダーに示してあるように電池を収納してください。電池をプラスマイナス逆向きに収納すると電池が取り外せなくなりますのでお気をつけください。

電池寿命お知らせ音
電池がなくなりかけると、お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。（電池が使用できなくなる約 30 分前ですが、補聴器の使用状態によって異なります。）

## ■チャイルドロック（ジュニアモデル）

ナイーダのジュニアモデルは、電池の誤飲などによる危険を防ぐため、電池を取り出せないようロックできます。

電池をロックするには:
図のように固定用ノブを起こしてから電池を入れ、固定用ノブで電池を押さえます。次に固定用ノブの先端をカチッと止まるまで奥へスライドさせます。

電池のロックを解除するには:
固定用ノブの先端に図のようにツメをかけて手前にスライドさせます。固定用ノブを起こしてから電池を取り出します。

## ■補聴器の使い方

電源を入れる方法：電池ホルダーを閉める

電源を切る方法：電池ホルダーを開ける

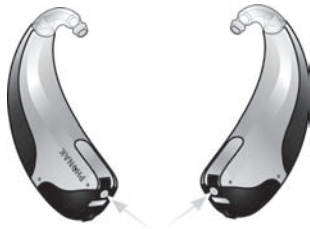
ポイント

電源を入れると、補聴器はあらかじめ調節された音量とプログラムに自動的に設定されます。

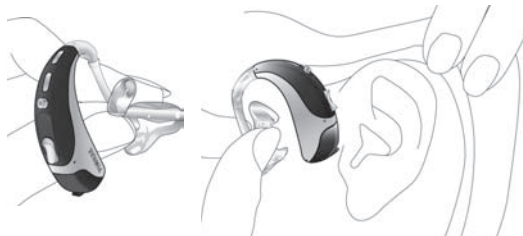
注　意

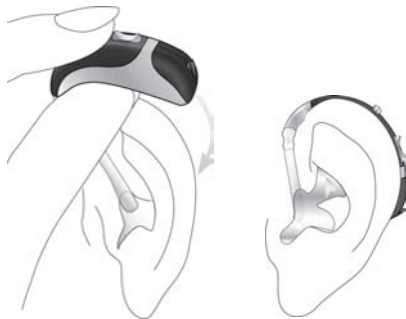
電源を入れてから音がでるまで約 6 秒かかります。
スタートアップの遅延が設定されている場合、電源を入れてから約 6 秒後に一瞬音が出た後再び無音になり、その後 9 秒または 15 秒後に動作します。

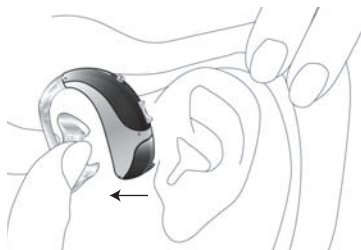
## 装用の前に

左右を色で見分けることができます。

赤色：右耳用　　左耳用：青色

## 補聴器を耳に装用する方法

1. 図のようにイヤモールドを持ち、そのまま耳の穴にイヤモールドを近づけます。

2. 耳穴の後ろの耳介部分を軽く後ろに引きながら、イヤモールドを耳の中にゆっくり入れます。入りにくい場合は、販売店にご相談ください。

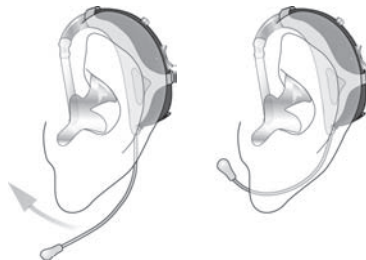
3. イヤモールドが完全に収まったら、補聴器本体を耳介の後ろにはめます。

## 補聴器を耳から外す方法

イヤモールドをつかみ、ゆっくり耳から取り出します。

## 保持ホルダー（別売）

### 保持ホルダーの取り付け方

保持ホルダーは、スポーツなどの時にナイーダを耳へ保持させるためのものです。
装着方法は、図のようにナイーダを保持ホルダーへ取り付けます。

### 保持ホルダーの使用法

ナイーダに保持ホルダーを取り付けたまま耳へ装着し、保持ホルダーのワイヤー部分を耳たぶの後から手前へ図のように折り曲げます。

保持ホルダーのサイズは、ナイーダ UP用、ナイーダ SP用とサイズが異なりますのでご注意ください。

## 音量の調節方法

### 音量を上げるには:

ボリュームコントロールを上に押します。

### 音量を下げるには:

ボリュームコントロールを下に押します。

音量を変更するとビープ音が1回鳴り、最適な音量になると低いビープ音（ポッ）が1回鳴ります。
音量が最大または最小に達した場合は、ビープ音が2回（ピポッ）鳴ります。

## プログラムの切り替え方法

プログラムスイッチを押すたびにプログラムが切り替わります。

プログラム設定している場合、手動で切り替えることが可能です。

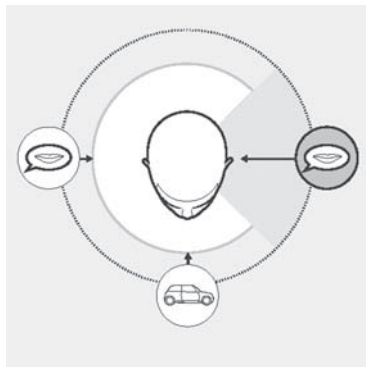
各プログラムの設定内容は次ページをご参照ください。

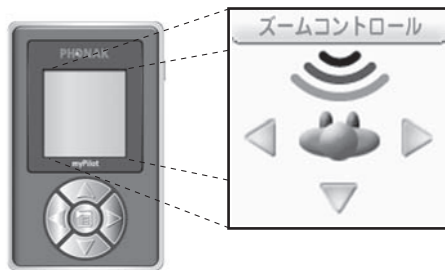
## クイックシンク（ナイーダ IX UP/SP, ナイーダ V UP/SP, ナイーダ V UP/SP ジュニア）

クイックシンクとは、左右の補聴器同士が通信を行ない連動する機能です。

片方の補聴器のボリュームやプログラムを操作するだけでもう一方の補聴器も同じ動作をします。

## ■ズームコントロール

ズームコントロールは、ナイーダ IX UP もしくはナイーダ IX SP を両耳装用される場合に、前後左右にある聴きたい音の方向を装用者が選択できる機能です。例えば、車を運転しているとき、隣の人や後ろの人と会話をするときなど、相手に顔を向けることができないときに便利です。
方向の切り替えはワイヤレス・アクセサリー「マイパイロット」（別売）または、補聴器のプログラムボタンにより行います。

## 1. マイパイロットによる方向の切り替え

まずマイパイロット（別売）のカラーディスプレイにズームコントロール画面を表示させます。ズームコントロール画面を表示するには、マイパイロットのメニューボタンを押し、メニュー画面でズームコントロールを選択します。ダイレクトモード画面で使用している場合は、マイパイロットのボタン◁▷ を同時に押して画面を標準モードに戻してからズームコントロール画面を表示します。
詳しくは、マイパイロットの取扱説明書をご参照ください。

ズームコントロール画面が表示されている状態で、マイパイロットの上下左右のボタンを押すことでお好みの方向の音を聞くことができます。

| ボタン | 切替方向 |
|---|---|
| △ | 前方向に切り替えます。 |
| ◁ | 左方向に切り替えます。 |
| ▷ | 右方向に切り替えます。 |
| ▽ | 後方向に切り替えます。 |

## 2. プログラムによる方向の切り替え

補聴器のプログラムスイッチでズームコントロールの方向を切り替えるには、あらかじめ補聴器にプログラムを設定する必要があります。プログラムに組み込んだズームコントロールのダイレクトタッチ機能をオンにすることで、希望する方向の補聴器のプログラムスイッチを押すだけでその方向に切り替えることが可能です。ただしこの場合は、左右のズームコントロールの使用のみが可能になります。プログラムおよびダイレクトタッチ機能の設定については販売店にご相談ください。

ダイレクトタッチ機能オンの場合
販売店にてプログラムに組み込んだズームコントロールのダイレクトタッチ機能をオンにしておくと、そのプログラムに切り替えた際にプログラムボタンを押した補聴器の方向にダイレクトに切り替わります。

ダイレクトタッチ機能オフの場合
販売店にてあらかじめマニュアルプログラム1～5のいずれかにズームコントロールを組み込み、聞きたい方向を設定しておきます。プログラムスイッチを押し、ズームコントロールが組み込まれたプログラムを選択すると、設定された方向に切り替わります。オートマチックプログラムに戻る場合や、他のプログラムに切り替える場合は、適宜プログラムスイッチを押してください。（プログラムの切り替えは、マイパイロットでも可能です。）

## Naida Ⅰ UP/SP プログラム設定表

| プログラム | 設　定　内　容 | 確認音※※ |
|---|---|---|
| プログラム 1 | | “ピ”(･) |
| プログラム 2 | | “ピピ”(‥) |
| プログラム 3 | | “ピピピ”(…) |
| プログラム 4 | | “ピポポ”(.⋅⋅) |
| ミュート※ | | 確認音なし |

※ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。

※※確認音は消すことも可能です。（プログラム 1～プログラム 4）

## Naida Ⅲ UP/SP, Naida Ⅲ UP/SP ジュニア プログラム設定表

| プログラム | 設 定 内 容 | 確認音※3 |
|---|---|---|
| 自動プログラム | サウンドフローによる自動切り替え | 短いメロディー |
| プログラム 1 | | “ピ”(·) |
| プログラム 2 | | “ピピ”(··) |
| プログラム 3 | | “ピピピ”(···) |
| プログラム 4 | | “ピポポ”(.¨) |
| イージーフォン | | “ピポ”(.˙) |
| イージー FM | | “ピポ”(.˙) |
| イージーオーディオ※1 | | “ピポ”(.˙) |
| イージーブルートゥース※1 | | “ピポ”(.˙) |
| ミュート※2 | | 確認音なし |

※1 マイコム使用時のみご利用いただける機能です。
※2 ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。
※3 確認音は消すことも可能です。（プログラム 1～プログラム 4，イージープログラム）

## Naida Ⅴ UP/SP, Naida Ⅴ UP/SP ジュニア プログラム設定表

| プログラム | 設　定　内　容 | 確認音※3 |
|---|---|---|
| 自動プログラム | サウンドフローによる自動切り替え | 短いメロディー |
| プログラム 1 | | “ピ”(･) |
| プログラム 2 | | “ピピ”(‥) |
| プログラム 3 | | “ピピピ”(…) |
| プログラム 4 | | “ピポポ”(.‥) |
| イージーフォン | | “ピポ”(.･) |
| イージー FM | | “ピポ”(.･) |
| イージーオーディオ※1 | | “ピポ”(.･) |
| イージーブルートゥース※1 | | “ピポ”(.･) |
| ミュート※2 | | 確認音なし |

※1 マイコム使用時のみご利用いただける機能です。
※2 ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。
※3 確認音は消すことも可能です。（プログラム 1〜プログラム 4、イージープログラム）

## Naida Ⅸ UP/SP，Naida Ⅸ UP/SP ジュニア プログラム設定表

| プログラム | 設　定　内　容 | 確認音※3 |
| --- | --- | --- |
| 自動プログラム | サウンドフローによる自動切り替え | 短いメロディー |
| プログラム 1 | | “ピ”(・) |
| プログラム 2 | | “ピピ”(‥) |
| プログラム 3 | | “ピピピ”(…) |
| プログラム 4 | | “ピポポ”(.¨) |
| プログラム 5 | | “ピポ”(.˙) |
| イージーフォン | | “ピポ”(.˙) |
| イージー FM | | “ピポ”(.˙) |
| イージーオーディオ※1 | | “ピポ”(.˙) |
| イージーブルートゥース※1 | | “ピポ”(.˙) |
| ミュート※2 | | 確認音なし |

※1 マイコム使用時のみご利用いただける機能です。
※2 ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。
※3 確認音は消すことも可能です。（プログラム 1～プログラム 5，イージープログラム）

## ■イージーフォン

イージーフォンは、受話器を耳にあてると自動的に電話プログラムを選択する機能です。
切り替わる時、お知らせ音（ピポ）が鳴ります。
受話器を耳から離すと、元のプログラムに自動的に戻ります。

※イージーフォンは、ナイーダI UP/SP 以外のナイーダ機種で使用できます。

### イージーフォン用の磁石を取り付ける方法

受話器をきれいにし、図のような位置に専用の磁石を付属の両面テープで貼ります。

（左耳用）　（右耳用）

**注　意**

磁石で受話器の音が出る部分を覆わないようにしてください。受話器を近づけても切り替わらない場合は、磁石の位置を変更してください。

## ■デュオフォン

デュオフォンは、電話プログラムを使用中に、もう片方の補聴器にも電話の音声が同時に送信される機能です。例えば、右側で電話の音声を補聴器で聞いている場合でも、デュオフォンを使用することで、両耳で右側の補聴器の音声が聞こえるようにできます。両耳で聞くことにより片耳の場合よりも電話の音声を聞き取り易くするのがデュオフォンの目的です。なお、デュオフォンは、ナイーダ IX UP もしくは ナイーダ IX SP を両耳装用している場合のみに、設定できます。
イージーフォンと併用してご使用の場合は、自動で切り替わりますが、イージーフォンと併用せず、独立したプログラムでご使用の場合は、手動のプログラムスイッチでの操作となります。

## 1. イージーフォンを併用する場合の操作

| 電話する側 | 操作方法 |
|---|---|
| 右側 | 磁石の着いた受話器に右側の補聴器を近づけてイージーフォンに切り替えます。イージーフォンが作動している間は、電話の音声が左側の補聴器にも同時に送信されます。 |
| 左側 | 磁石の着いた受話器に左側の補聴器を近づけてイージーフォンに切り替えます。イージーフォンが作動している間は、電話の音声が右側の補聴器にも同時に送信されます。 |

## 2. イージーフォンを併用しない場合の操作

販売店にて、あらかじめ補聴器に電話プログラムを設定することができます。以下の設定 1～3 の電話プログラムの設定が可能ですが、どの設定になっているかは販売店にお問い合わせください。

<table>
<tr><th>設定</th><th>ダイレクトタッチ *</th><th>電話する側</th><th>操作方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">オン</td><td>右側</td><td>右側の補聴器のプログラムスイッチで電話プログラムに切り替えます。右の電話の音声が同時に左側の補聴器に送信されます。</td></tr>
<tr><td>左側</td><td>左側の補聴器のプログラムスイッチで電話プログラムに切り替えます。電話の音声が同時に右側の補聴器に送信されます。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>オフ</td><td>右側</td><td>左右どちらの補聴器のプログラムスイッチを押しても、電話プログラム（右側設定）に切り替えた場合は、右側から入る電話の音声が同時に左側の補聴器に送信されます。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>オフ</td><td>左側</td><td>左右どちらの補聴器のプログラムスイッチを押しても、電話プログラム（左側設定）に切り替えた場合は、左側から入る電話の音声が同時に右側の補聴器に送信されます。</td></tr>
</table>

* ダイレクトタッチは、電話を聞き取りたい側のプログラムスイッチを押せば切り替えられる便利な機能です。

## ■マイパイロット（別売）

マイパイロットは双方向通信機能をもったリモコンです。次のような機能があります。

・ボリューム操作
・プログラム切替
・日付、時間表示
・マイパイロットの電池残量表示
・補聴器の使用状態表示（ボリュームの位置、
　プログラム、電池残量）

詳しくはマイパイロットの
取扱説明書をご覧ください。

※マイパイロットは、ナイーダIUP/SP 以外のナイーダ機種で使用できます。

図のようにマイパイロット画面を見ながら操作してください。

リモコン操作距離
約 50cm 以内

注　意

電子機器の使用が禁止されている場所（例：飛行機内など）ではリモコンは使用しないでください。

## ■マイコム（別売）

マイコムは、補聴器と携帯電話やオーディオ機器、FM システムなどを接続する機器です。

・ブルートゥース接続
MP3 プレーヤー、携帯電話、パソコン、テレビ等のブルートゥースアダプタからの信号を受信し補聴器へ送ります。

※マイコムは、ナイーダI UP/SP 以外のナイーダ機種で使用できます。

・FM システム
ユニバーサルタイプの FM 受信機（MLxi, 別売）を接続することができます。

・マイコムからの信号で、イージーオーディオ、イージーブルートゥースプログラムに切り替わります。

詳しくはマイコムの取扱説明書をご覧ください。

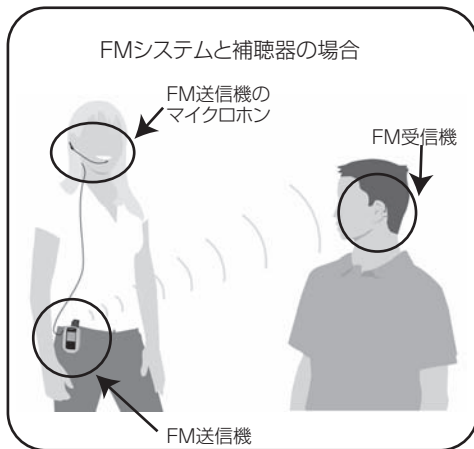
## ■アイビュー（別売）

アイビューは、学校の先生や保護者の方が子どもの装用状態を確認することができる補聴器読み取り専用のアクセサリーです。読み取りボタンを 1 回押すだけで、補聴器のプログラムの状態・電池残量・ボリュームの位置がカラーディスプレイ上に表示されます。

※アイビューは、ナイーダI UP/SP 以外の
　ナイーダ機種で使用できます。

詳しくはアイビューの取扱説明書をご覧ください。

## ■FMシステム（別売）

話し手と聞き手の距離が離れた場所や周囲が騒がしい場所など、補聴器だけでは聞き取りが困難な環境があります
FM システムは話し手の声をマイクロホンでキャッチし、FM 電波（169MHz 帯）によって聞き手に快適な聞こえを提供する補聴援助システムです。
FM システムは送信機と受信機が必要です。
FM システムの詳細については FM システムのカタログをご覧ください。

## FM 送信機

| 製品名 | インスパイロ<br>inspiro | ズーム・リンク・プラス<br>ZoomLink+ | イージー・リンク・プラス<br>EasyLink+ |
|---|---|---|---|
| 写真 | | | |
| 特徴 | 学校生活用にデザインされた送信機です。言語獲得中の子どもに最適です。日本語表示で操作も簡単です。 | ビジネスやプライベートで使用できるおとな向け送信機です。話し手の首にかけて使用します。指向性の切り替えができるマイクロホンを搭載しています。 | ビジネスやプライベートで使用できるおとな向け送信機です。話し手の首にかけて使用します。ボタン１つで扱え、操作が簡単です。 |

## FM受信機

| 製品名 | エム･エル･エックス･アイ<br>MLxi | エム･エル･テン･アイ<br>ML10i | エム･エル･イレブン･アイ<br>ML11i | マイ･リンク･プラス<br>MyLink+ |
|---|---|---|---|---|
| 写真 | | | | |
| 特徴 | 別途、オーディオシュー（AS10、AS11）が必要です。アイコムとの併用も可能です。 | ナイーダ UP 専用の補聴器一体型受信機です。オーディオシューは不要です。ナイーダと同じ汗や水に強い構造です。<br>JIS 防水保護等級 3 級（JIS C 0920） | ナイーダ SP 専用の補聴器一体型受信機です。オーディオシューは不要です。ナイーダと同じ汗や水に強い構造です。<br>JIS 防水保護等級 3 級（JIS C 0920） | T コイルを利用して FM システムが使用できる首かけ型受信機です。 |

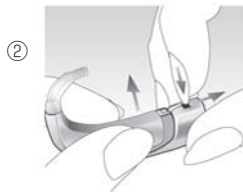
## FM 受信機・オーディオシューの取り付け、取り外し

AS10, AS11 を使用する場合に以下の手順で取り付け、取り外しを行います。
（※）FM システムを使用しないときに AS10, AS11 を取り外す必要はありません。
（※）AS10, AS11 は防水設計ではありません。

■ AS10, AS11 の取り付け

①AS10, AS11 を押し込み電池ホルダーの溝に沿ってスライドさせます。

■ AS10, AS11 の取り外し

②AS10, AS11 のつまみを押し下げながら補聴器をスライドさせます。

## FMシステム使用手順(MLxi, ML10i, ML11i)

| 切り替え方法 | プログラムスイッチ | イージーFM機能 |
|---|---|---|
| | 手動切り替え | 自動切り替え |
| 手順 | 1. FM 用プログラムを補聴器に設定します。<br>2. 補聴器のプログラムスイッチでFM 用プログラムを選択します。<br>プログラムスイッチ | 1. イージー FM の設定を有効にします。<br>2. 補聴器の電源をオンにして、オートマチックモードにします。<br>3. FM 送信機から音声を入力します。FM 受信機が音声を認識すると自動<br>4. 的に FM プログラム「FM+M」に切り替わります。 |

## FM システム使用手順（MyLink+）

| 切り替え方法 | MyLink+ |
|---|---|
| 手順 | 1. T コイル用プログラムを補聴器に設定します。<br>2. 補聴器のプログラムスイッチでTコイル用プログラムを選択します。<br>3. MyLink+の電源をオンにします。 |

**マイパイロット**

マイパイロットで、FM 用、T コイル用プログラムに切り替えることができます。詳しくはマイパイロットの取扱説明書をご覧ください。

**マイコム**

マイコムを介して MLxi を使用できます。詳しくはマイコムの取扱説明書をご覧ください。

# イージーFM

- イージー FM 機能を有効にすると、次の条件下で自動でイージー FM 専用のプログラム「FM+M」(エフ・エム・プラス・エム)に切り替わります。
  - FM 送信機と FM 受信機が FM システム利用圏内（約 15m 以内）にあること
  - FM 送信機と FM 受信機のチャンネルが同期されていること
  - 補聴器のプログラムがオートマチックモードであること
  - 送信機のマイクロホンに音声が入力されること
- FM 送信機からの音声の入力をストップ（FM 送信機の電源オフも含む）し、しばらくすると自動でイージー FM 専用のプログラムからオートマチックモードに切り替わります。
- イージー FM 対応のナイーダは下表を参照ください。

| ナイーダ I | ナイーダ III | ナイーダ V | ナイーダ IX |
|---|---|---|---|
| ー | ○ | ○ | ○ |

○：対応
ー：未対応

（※）MyLink を受信機として使用している場合は、イージー FM は使用できません。

## ■ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

1. 補聴器本体から電池を取り出します。

2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池についた汗や汚れを拭き取ります。

3. 電池ホルダーの中も湿気があるとさびやすいため、綿棒などで水分を取ってください。

4. 耳せんやイヤモールドが耳あか等でつまっている場合は、ブラシなどで取り除いてください。

**注　意**

補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉等）は絶対にご使用にならないでください。

## ■補聴器の保管

乾燥ケースを使用される場合は
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケース
に入れて下さい。

注　意

補聴器から必ず電池を取り出してください。
補聴器から取り出した電池は乾燥ケースにいれ
ないようにしてください。

## ■初めてお使いになる方に

### 第一段階

初めは静かな家の中等で使用し、補聴器をつけることに慣れて下さい。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

### 第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

### 第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

### 第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

注意:補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

## ■故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。

**1** 電池がなくなっていませんか?
- はい → 新しい電池に交換してください。(2～3ページ)
- いいえ ↓

**2** 耳せんやイヤモールドがつまっていませんか?
- はい → クリーニングしてください。(33ページ)
- いいえ ↓

**3** 耳せんやイヤモールドが正しく耳に入っていますか?
- いいえ → きちんと耳に入れなおしてください。(6～8ページ)
- はい ↓

販売店へご相談ください。

## ■仕様・性能（ナイーダ I UP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

適応聴力範囲：高度～重度
規準周波数：1600 Hz
最大音響利得：74 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：135 dB ±5 dB（1600Hz）
147 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：500 Hz 5.0% 以下
800 Hz 4.0% 以下
1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：1.80 mA 以下
使用電池：PR44（675）
電池寿命：300～470時間
誘導コイルの感度：108 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器：可変幅 ±6 dB の場合
約 2.0 dB ずつ 3 段階
可変幅 ±10 dB の場合
約 2.0 dB ずつ 5 段階
可変幅 −20 dBの場合
約 2.0 dB ずつ 10 段階
可変幅 −30 dBの場合
約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

# ■仕様・性能（ナイーダ Ⅰ SP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度～重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 65 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 132 dB ±5 dB（1600Hz）<br>145 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 5.0% 以下<br>800 Hz 5.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR48（13） |
| 電池寿命： | 130～200時間 |
| 誘導コイルの感度： | 101 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

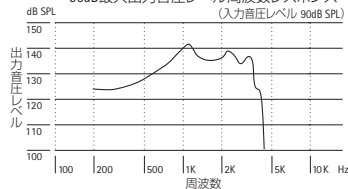
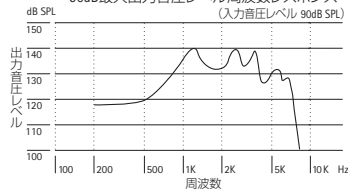
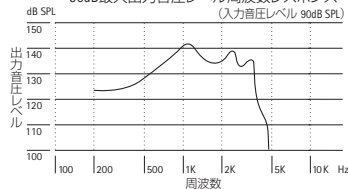
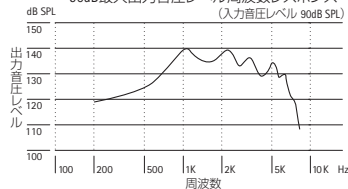
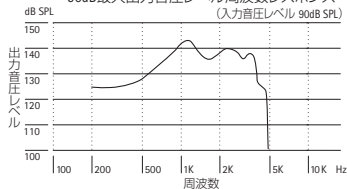
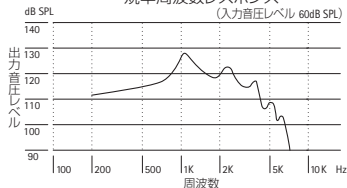
*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ Ⅲ UP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度〜重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 75 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 135 dB ±5 dB（1600Hz）<br>147 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 5.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR44（675） |
| 電池寿命： | 300〜470時間 |
| 誘導コイルの感度： | 110 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）

規準周波数レスポンス
（入力音圧レベル 60dB SPL）

誘導コイル入力周波数レスポンス

## ■仕様・性能（ナイーダ Ⅲ UP ジュニア）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲 | 高度〜重度 |
| 規準周波数 | 1600 Hz |
| 最大音響利得 | 75 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル | 135 dB ±5 dB（1600Hz）<br>147 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ | 500 Hz　5.0% 以下<br>800 Hz　4.0% 以下<br>1600 Hz　3.0% 以下 |
| 電池の電流 | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池 | PR44（675） |
| 電池寿命 | 300〜470時間 |
| 誘導コイルの感度 | 110 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器 | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ Ⅲ SP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度〜重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 68 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 134 dB ±5 dB（1600Hz）<br>146 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 4.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR48（13） |
| 電池寿命： | 130〜200時間 |
| 誘導コイルの感度： | 104 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ Ⅲ SP ジュニア）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度～重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 68 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 134 dB ±5 dB（1600Hz）<br>146 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz　4.0% 以下<br>800 Hz　4.0% 以下<br>1600 Hz　3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR48（13） |
| 電池寿命： | 130～200時間 |
| 誘導コイルの感度： | 104 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等
の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ V UP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度〜重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 75 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 135 dB ±5 dB（1600Hz）<br>147 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 5.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR44（675） |
| 電池寿命： | 300〜470時間 |
| 誘導コイルの感度： | 110 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ V UP ジュニア）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度〜重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 75 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 135 dB ±5 dB（1600Hz）<br>147 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 5.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR44（675） |
| 電池寿命： | 300〜470時間 |
| 誘導コイルの感度： | 110 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大） *誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能(ナイーダ V SP)

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲: | 高度〜重度 |
| 規準周波数: | 1600 Hz |
| 最大音響利得: | 68 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル: | 134 dB ±5 dB(1600Hz)<br>146 dB SPL 以下(ピーク値) |
| 等価入力雑音レベル: | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ: | 500 Hz 4.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流: | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池: | PR48(13) |
| 電池寿命: | 130〜200時間 |
| 誘導コイルの感度: | 104 dB SPL ±6 dB(磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大)*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器: | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ V SP ジュニア）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度～重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 68 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 134 dB ±5 dB（1600Hz）<br>146 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 4.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR48（13） |
| 電池寿命： | 130～200時間 |
| 誘導コイルの感度： | 104 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 －20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 －30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ Ⅸ UP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度〜重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 74 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 135 dB ±5 dB（1600Hz）<br>147 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 5.0% 以下<br>800 Hz 4.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR44（675） |
| 電池寿命： | 300〜470時間 |
| 誘導コイルの感度： | 108 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■仕様・性能（ナイーダ Ⅸ SP）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

| | |
|---|---|
| 適応聴力範囲： | 高度～重度 |
| 規準周波数： | 1600 Hz |
| 最大音響利得： | 65 dB ±5 dB |
| 90dB 最大出力音圧レベル： | 132 dB ±5 dB（1600Hz）<br>145 dB SPL 以下（ピーク値） |
| 等価入力雑音レベル： | 30 dB SPL 以下 |
| 全高調波ひずみ： | 500 Hz 5.0% 以下<br>800 Hz 5.0% 以下<br>1600 Hz 3.0% 以下 |
| 電池の電流： | 1.80 mA 以下 |
| 使用電池： | PR48（13） |
| 電池寿命： | 130～200時間 |
| 誘導コイルの感度： | 101 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定 |
| 利得調整器： | 可変幅 ±6 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 3 段階<br>可変幅 ±10 dB の場合<br>約 2.0 dB ずつ 5 段階<br>可変幅 −20 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 10 段階<br>可変幅 −30 dBの場合<br>約 2.0 dB ずつ 15 段階 |

*本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

## ■アフターサービス

1. 保証書（別途添付）
   必ず「販売店名」、「お買い上げ日」、などの記載をお確めになり、大切に保管してください。

2. 修理について
   保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

3. その他
   アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は 2010 年 7 月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※この補聴器は耳を保護する目的で出力 125dB SPL 以下、利得 30dB 以下に設定し出荷いたしております。